



# 大学生と集落の協働による地域活性化事業

## 別紙

### 背景・目的

人口減少  
少子高齢化

地域の担い手不足  
集落の活力低下

大学生  
事業

集落の活性化

+

関係人口の創出

◇平成21年度から実施し、これまで82集落・82グループ（43大学）が参加  
◇主な参加大学：福島大、東北大、獨協大、宇都宮大、東洋大、宮城教育大、宮城大

R4.10月現在

### 集落活性化の取組

◎大学生の持つ  
**柔軟な視点**や  
**感性・行動力**を  
活かした集落活  
性化

◎県内外の若者と  
集落の交流

◎集落の主体的な  
活動を支援



#### <第1段階> スタートアップ

大学生の力を活用した集落復興支援事業

- ・1年目：集落の実態調査・活性化策の提案
- ・2年目：活性化策に基づいた実証活動

#### <共有・交流>

地域づくり交流会・  
誇れる集落発信事業

#### <第2段階> 伴走支援

集落自主活動に係る伴走支援事業

- ・3～4年目：  
集落の主体的な取組に向けて  
伴走支援。  
⇒サポート事業への誘導に  
より活動継続を支援

- ・活動報告会  
⇒気付きや学びによる  
活動の充実
- ・交流会  
⇒活動の広がりや地域  
に対する思いの醸成

### 関係人口創出の取組

◎卒業後も**継続的**  
**な交流**や移住・  
定住へ



#### <卒業後> 新たな視点による支援

関係人口づくり強化事業

社会人としての新たな切り口からの地域活性化策の提案や  
就職先企業との関係づくり。

#### <卒業後> 交流継続に向けた愛着醸成

集落の小さな同窓会事業

かつて活動した集落で体験活動や同窓会を実施し、地域への  
愛着や人的つながりを創出。

### 集落活性化の事例

#### 農家民宿でまちおこし

二本松市木幡地区水舟集落

×  
宇都宮大学里計画研究会 H25～26, H30～R1

農家  
民宿



- 大学生が農家民泊ガイドラインを作成し、  
農家民宿体験を実施。
- 木幡地区では学生の提案を受け4軒の農家民  
宿が開業、現在は8軒が運営中。

#### 竹の活用 SDG s

会津若松市大戸地区

×  
会津短期大学部OOTOプロジェクト R1～

地域  
資源



- 伐採した竹を活用し、竹灯籠や生活雑貨  
の製作、竹酢液を使った野菜作りを実践。
- 収穫した野菜は、地元の高校生や企業と  
連携して販売。

#### あんぽ柿 復っ活

伊達市梁川町五十沢地区

×  
東洋大学藤井信幸ゼミ H27～30

特産  
品



- 風評による売上減少、検査に伴うコスト増  
等により苦戦していたあんぽ柿。
- 市場ニーズを捉えた少量販売、学生考案の包  
装デザイン、「発祥の地」の売り込みなど高  
付加価値の商品化に成功。

#### 交流活動継続宣言

只見町布沢区

×  
宇都宮大学 D-friends(任意団体) H22～

交流



- 学生とOBが任意団体「D-friends」を結成し、  
区と「交流活動継続宣言」を締結。年間延べ  
約200人が地域を訪問し活動・交流を継続。
- 本事業のOBが地域おこし協力隊を経て「森林  
の分校 ふざわ」の支配人に就任。

### 関係人口・地域の担い手へ

#### 地域おこし協力隊

西会津町中町

×  
福島大学 岩崎ゼミ

- Aさんは西会津町民の人柄に惹かれ、令和4  
年4月より西会津町の地域おこし協力隊に  
着任。
- 集落支援を担当し、西会津町と他の地域を  
つなぐ架け橋として活躍中。

#### 地域おこし協力隊→起業

南会津町耻風地区

×  
獨協大学 大竹ゼミ

- Bさんは大学生事業をきっかけに、南会津町  
の地域おこし協力隊として3年間活動。
- 任期終了後も、南会津町に定住し直売所の  
運営、地元商品の県外への販売、製作した  
キッチンカーの営業に挑戦中。